

2019 年度

韓国コース派遣留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学
国際学部国際文化学科
学籍番号：21018030
上村菜々美

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学の目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	7
5	当初目的・目標への達成度	8
6	反省・感想	9
	謝辞	9

付録

	研修日誌	9
--	------	---

1 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：令和1年8月31日（土）～令和1年12月26日（木）

2 留学先概要

(1) 慶熙大学について

幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた名門私立大学。1949年「文化世界の創造」を創立精神として設立された。ソウル・水原・光陵にキャンパスを持ち、国家と社会を牽引していく人材養成に最善を尽くしている。また、慶熙大学は世界約50カ国の200箇所以上の大学・教育機関と友好関係を結んでおり、国際交流も積極的に行っているグローバルな大学である。

(2) 国際教育院について

国際教育院には世界中のいろいろな国から韓国語を学びに来ている。初級から上級まで6レベルあり、自分にあったレベルから始めることができる。授業は文法、会話、聞き取り、作文、読解に分かれている。また留学生一人に対して慶熙大学の学生、大学院生が一人付き、勉強や生活の助けをしてくれる「トウミ(チューター)制度」は、留学生から多くの支持を得ている制度で、言語や文化の学習に最適である。

3 留学の目的

今回の留学の目的は、第一に言語の習得である。新潟での授業では身に着けることが難しい聞き取る力を特に重点に置いて学習することを目的とする。また、実際に行くことでしか感じられない韓国の文化や習慣を体験することにも重きを置いた。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	31（土）	到着（初級1）	入寮
9	1（日）	自由	
	2（月）	オリエンテーション 広報ビデオ鑑賞 レベルテスト	キャンパスツアー
	3（火）	韓国語	韓国事情
	4（水）	韓国語	セミナー

	5 (木)	現地学習 (ロッテワールド・水族館)	
	6 (金)	韓国語	
	7 (土)	休日	
	8 (日)		
	9 (月)	韓国語	映像韓国語
	10 (火)	韓国語	セミナー
	11 (水)	韓国語	韓国事情
	12 (木)	秋夕 (チュソク) 休日	
	13 (金)		
	14 (土)		
	15 (日)		
	16 (月)		
	17 (火)	韓国語	セミナー
	18 (水)	韓国語	韓国事情
	19 (木)	韓国語	ハングル博物館
	20 (金)	韓国語	休日
	21 (土)	休日	
	22 (日)	休日	
	23 (月)	韓国語	映像韓国語
	24 (火)	韓国語	セミナー
	25 (水)	韓国語	韓国事情
	26 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	27 (金)	韓国語	休日
	28 (土)	休日	
	29 (日)		
	30 (月)		
10	1 (火)	オリエンテーション	外国人登録書の指紋認証
	2 (水)	韓国語 (初級 2)	国際教育院の院長との懇談会
	3 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	4 (金)	韓国語	休日
	5 (土)	休日	
	6 (日)		
	7 (月)	韓国語	映像韓国語
	8 (火)	韓国語	セミナー

	9 (水)	ハンゲルの日 (休日)	休日
	10 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	11 (金)	韓国語	書初め大会
	12 (土)	休日	
	13 (日)		
	14 (月)	韓国語	映像韓国語
	15 (火)	韓国語	セミナー
	16 (水)	韓国語	調理実習 (チャプチェなど)
	17 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	18 (金)	韓国語	休日
	19 (土)	休日	
	20 (日)		
	21 (月)	韓国語	映像韓国語
	22 (火)	韓国語	セミナー
	23 (水)	韓国語	キョンヒ大学中央博物館 (ハンコ作り)
	24 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	25 (金)	韓国語	休日
	26 (土)	休日	
	27 (日)		
	28 (月)	韓国語	映像韓国語
	29 (火)	韓国語	セミナー
	30 (水)	韓国語	サムルノリ韓国の伝統楽器 (nuiのみ)
	31 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
11	1 (金)	韓国語	休日
	2 (土)	休日	
	3 (日)		
	4 (月)	韓国語	映像韓国語
	5 (火)	中間テスト (スピーキングのみ)	セミナー
	6 (水)	中間テスト	
	7 (木)	中間テスト 解説	韓国の大衆文化
	8 (金)	韓国語	休日

	9 (土)	休日	
	10 (日)	休日	
	11 (月)	南怡島 (午前のクラスのみなど)	
	12 (火)	韓国語	セミナー
	13 (水)	韓国語	韓国食文化館 (プルコギを作った。 Nuis のみ)
	14 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	15 (金)	韓国語	
	16 (土)	休日	
	17 (日)		
	18 (月)	韓国語	映像韓国語
	19 (火)	韓国語	セミナー
	20 (水)	韓国語	韓国事情
	21 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	22 (金)	韓国語	
	23 (土)	休日	
	24 (日)		
	25 (月)	韓国語	映像韓国語
	26 (火)	韓国語	セミナー
	27 (水)	韓国語	景福宮 (nuis のみ)
	28 (木)	韓国語	韓国の大衆文化
	29 (金)	韓国語	
	30 (土)	休日	
12	1 (日)		
	2 (月)	韓国語	映像韓国語
	3 (火)	韓国語	セミナー
	4 (水)	韓国語	韓国事情
	5 (木)	期末テスト	韓国の大衆文化
	6 (金)	期末テスト	
	7 (土)	休日	
	8 (日)		
	9 (月)	期末テスト 解説	映像韓国語
	10 (火)	特別授業 (映画、ローリングペーパー)	セミナー

		一)	
	11 (水)	修了式 (全体)	ダンス授業 (nuis のみ)
	12 (木)	TOPIC 対策講義	韓国の大衆文化
	13 (金)	TOPIC 対策講義	
	14 (土)	休日	
	15 (日)		
	16 (月)	TOPIC 対策講義	映像韓国語
	17 (火)	TOPIC 対策講義	セミナー
	18 (水)	修了式 (nuis のみ)	ナンタ公演
	19 (木)		
	20 (金)		
	21 (土)		
	22 (日)		
	23 (月)		
	24 (火)		
	25 (水)		
	26 (木)		

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)初級1

文法、リスニング、ライティング、スピーキング、リーディングを3種類の教材を使って、新潟の学生のみで学ぶ。韓国語の基礎力の向上と、新潟の学生全員の足並みをそろえることが目的。

ii)初級2

文法と日替わりで、リスニングとスピーキング、リーディングとライティングの教材を使い、外国人の学生と一緒に韓国語の基礎を学ぶ。

iii)映像韓国語

毎週月曜日の月曜部に行われる授業。自分たちでドラマのストーリーとセリフを考え、それぞれ役割を決めて最終的には一つのオリジナルドラマを撮影する。韓国人の日常会話を考えてセリフにし、演じることでそれまで学んだ韓国語を活用する力を身に着けることができる。

iv)セミナー

毎週火曜日の午後に行われる授業。語彙力の向上のため先生が用意してくれた単語集を使って全員で少しずつ単語を覚えていく。後半は韓国についての自由なテーマでグループごとにプレゼンテーションを行う。

v)現地学習

計3回現地学習に行った。初級1のクラスの仲間とN ソウルタワー・国立中央博物館とロッテワールドアクアリウム・ロッテワールドアドベンチャーへ、初級2の仲間と南怡島へ行った。

vi)中間考査・期末考査

文法、リスニング、リーディング、ライティングを二日間に分けて行う。スピーキングは担任の先生と1対1での会話を行い、クラスの友達と2人か3人のペアになりお題に合った会話を考え発表した。

vii)ハングル大会

韓国に留学している外国人を対象にハングルの歌をどれだけ間違えずにきれいに書けるかを競う大会。NUISからは5人入賞した。

viii)TOPIC 対策講義

秋学期終了後にNUISの学生のみでTOPICのリスニングやリーディングの解き方の解説などを聞き過去問をひたすら解いた。

ix)修了式

秋学期が終わる12月11日に国際教育院全体での修了式が行われた。各級の代表の発表やダンスパフォーマンスを見た。またNUISのみの修了式も開かれ、そこで国際教育院長から賞状をいただいた。

5 当初目的・目標への達成度

言語の習得という面では全員が目標を達成できたのではないかと感じる。韓国語で行われる授業でも先生の話をしっかり理解したうえで問題を解くことができているし、トウミと話すときも日常会話は問題なくできていた。はじめのころ苦戦していたお店での注文もしっかり一人でできるようになった。

韓国の文化を知るという面では、毎日の学校でも、休日友達とどこかに出かける際も、日本にはない習慣を毎回感じていたし、トウミと文化について話すことで新しい発見がたく

さんあった。日本との文化の違いもはっきりと分かり、目標は達成できたと思っている。

6 反省・課題

外国に行くということはどんなことがあっても不思議ではないということを忘れず、もっと気持ちを強く持って生活すべきだった。4か月という短い間にすべてのことを吸収するのは難しいことだが、自分の気持ちがあればもっとできたのではないかという反省はある。この反省を生かしてこれからはどんなことにも意欲的に取り組もうと考えている。

謝辞

今回、韓国留学先で学校や生活の面において支えてくださった慶熙大学国際教育院のキム・ウンジョン先生、ソク・ジンジュ先生、イ・ソンジュン先生をはじめ、毎日の授業で私たちに丁寧に韓国語を教えてくださった教授の皆様、その他今回の留学に関わってくださった関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。また国際情報大学で普段から韓国語の指導をしてくださるシン・ウンジュ先生やその他多くの教授の皆様にもここから感謝申し上げます。また、本学から頂いた奨学金により今回の留学が実現しました。留学で得たことを忘れず、勉学に励めるようより一層精進していきます。誠にありがとうございました

付録：研修日誌

1. 寄宿舎と生活について

私たちは大学から歩いて 10 分ほどの場所にあるリーダーベリーという寄宿舎で生活した。部屋は二人一組であった。部屋には二段ベット、1 人に一つ、机と棚、クローゼットがあり、キッチンには IH と食器棚のようなものがあつた。また、洗濯機は台所の下に埋め込まれていた。シャワー室にはトイレ、洗面台、シャワーが密接していた。少し不自由な点もあつたが、4 か月生活するうえでは全く問題はなかつた。しかし部屋によって設備が異なり、トラブルがある部屋もあつた。

毎日の授業は午前と午後に分かれておりお昼の時間は 2 時間ほど空いていたため、昼食は学食か家で食べ節約していた。外食をすることも可能だったため、時々そのようにしていた。休日にはほとんど外出した。NUIS の仲間と電車に乗って様々な場所に行った。日本と比べて公共交通機関がかなり安く、バスや電車を頻繁に使つた。



2. トウミについて

留学生一人に韓国人の学生が一人ついて、生活や勉強など、さまざまな面でサポートしてくれるのがトウミ制度である。私は2歳年上のチョン・ヘジョンさんという女性の方がついてくれた。基本的に連絡手段としてはカカオトークというSNSを使用した。二人でご飯にいたり様々な場所に観光にいたりした。ヘジョンさんは日本語を話すことができたため、日本語と韓国語を交えながら会話をした。また私たちのペアともう一つのペアのふたつのペアで行動することもあった。日本人だけではいけないような場所にも連れて行ってもらい、異文化を存分に体験できた。

